

12/13
西游

高齢者座り込み開始

負担押し付け命削る安倍政権

切り捨てを進めるなか、来年度の予算編成に社会保障費の拡充を求めて高齢者の座り込みが12日、厚生労働省前で始まりました。主催は日本高齢期運動連絡会と

(都老協)。14日まで。
参加者はマイクを握り、
後期高齢者医療の窓口負担
増や、来年10月からの実施
をねりつ消費税10%増税、
年金の削減など負担を押し
付ける同政権に怒りの声を

軍事費の増額や、消費税増税が狙われる一方で、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担が原則2割に引き上げられようとしていると批判し、「軍事費をどんどん増やして、社会保障を削っていく政治に未来はない」と語りました。



あげました。

高齢者が安心して暮らせる世の中にしよう、と座り込みをする人たち。左端は激励のあいさつをする吉良よし子参院議員。左から6人目は小池晃書記局長＝12日、厚労省前